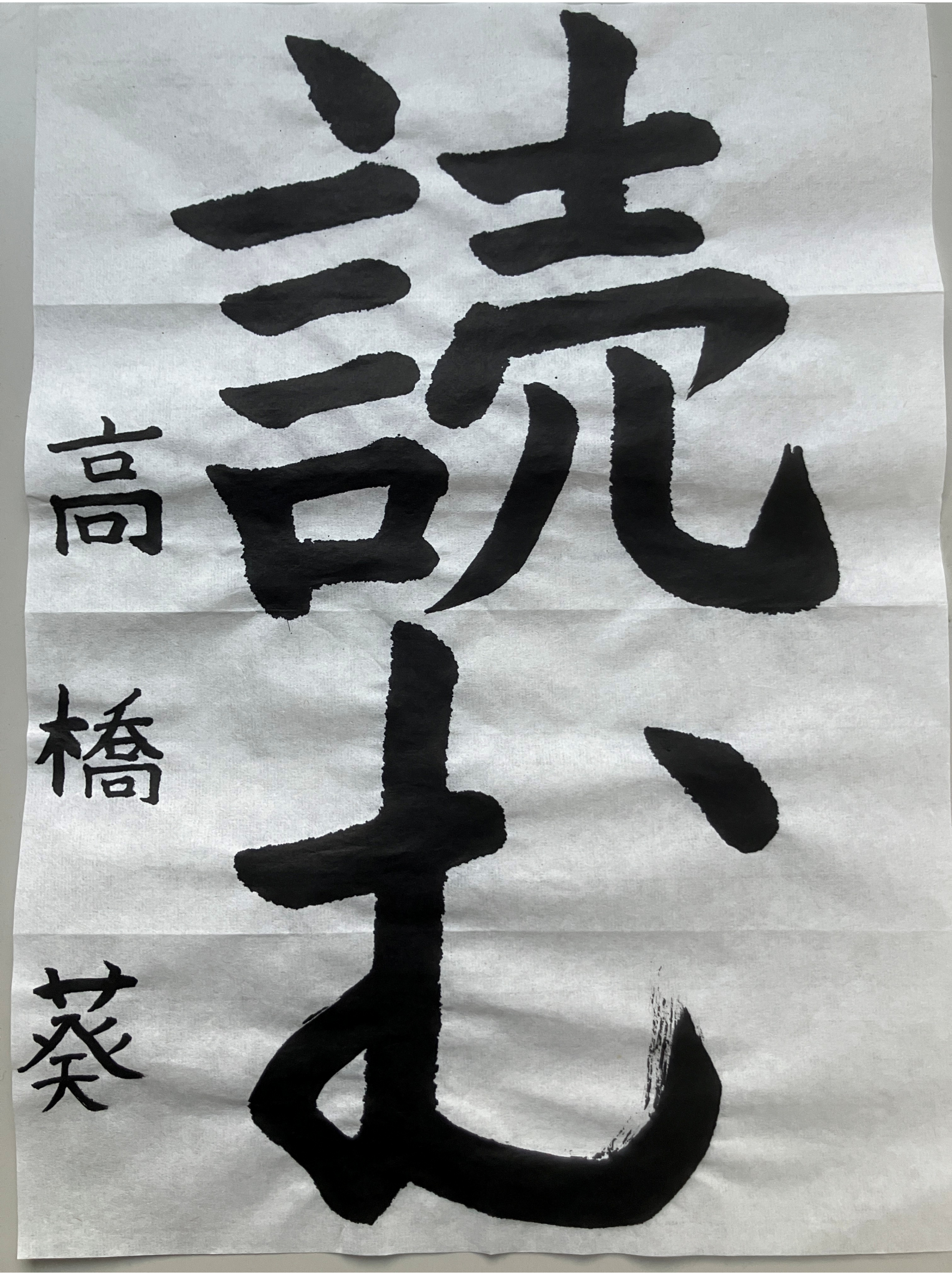
読む
高橋葵